

あいあいあい

I eye 愛

2023年

8月号



2025年ビジョン達成への階段

みんなで手を繋ぎ また一歩

理事長 高橋 千佳

第35回通常総代会において、理事会が提案したすべての議案に可決承認を頂き、ありがとうございます。4年ぶりに対面で意見交換が繰り広げられた議案書説明会は、コロナ禍を乗り越えやっとなってきた、生協らしく嬉しい場面でした。そして行われた入場数制限なしの総代会。総代の皆さまから頂いた熱い想いや応援メッセージからは、あいこープへの愛が溢れていました。総代会で承認頂いた全ての方針に基づき、粘り強く活動に取り組んでまいります。

社会福祉法人みんなの輪と共にリサイクル石けん「さいかち」の新工場を建設する提案が承認されました。利益を生む「商品」としてではなく、石けん運動のシンボルとして「さいかち」の製造継続を切望する私たちの思い。石けん運動を大切に、有害化学物質だらけの社会を変えて未来の子どもたちに恥ずかしくない環境を残したいという組合員の願いが、総代会で確かめられました。今年9月、あいこープが企画・運営し開催する「シャボン玉フォーラムinみやぎ」では、仙台に全国から仲間が

集まります。海のプラスチック汚染、アルプス処理水の海洋放出問題などを学び、水環境を守るためのこのシャボン玉フォーラムを成功させましょう。

そして忘れてはならない原発問題。12年前に事故を起こした福島第一原発と同じ「沸騰水型」の女川原発が、残念ながら再稼働に向かっています。宮城県民は原発事故を忘れたわけではないはずで、未だに避難生活を余儀なくされている人たちがいる。むしろ、東北に住む私たちが再稼働なんかしませんと全国に意思表示すべきなのに。今の菌瘁い状況を憂いた脱原発エネシフ委員会から、総代会終了後にインフォメーションの時間が欲しいと提案がありました。透き通った笛の音色から始まった、女川原発再稼働反対を訴える真剣なアピール。一人一人の声は重く響き、会場にいる全員の耳や目にあいこープらしさが焼き付いたと思います。

総代会で確認し合った2025年ビジョン達成への階段を、みんなでまた一歩、踏み出していきましょう。

CONTENTS

- ▶「石けん運動そもそもばなし」第5回 ……2
- ▶議案書説明会から総代会へ ……3

- ▶田んぼの生き物調べ ……4-5
- ▶パン工房のパン どれが好き？ ……6

- ▶有害化学物質学習会報告 ……7
- ▶生産者さんにあいに行こう「王隠堂農園」の巻 ……8

石けん運動 そもそも ばなし

連載第5回



続いているのは気持ちいいから
阿部 陽子さん
(元 石けん委員会委員長)

石けん…。合成洗剤より環境に優しいということは、汚れ落ちも良くないんでしょう？と誤解している方は意外と多いと思います。子育て中のパママや、家族の身の回りの世話をする機会が多い主婦に、より便利に、より効率的に、しかも家計に優しく石けん生活を続けてもらいたいと、「知らない人には伝えていこう」実際に一緒に使っていること、2000年代に石けん委員長を務められた阿部さんの思い出を伺います。



2003年の委員会活動の様子
蛍光増白剤のブラックライト実験

石けん生活の始まりは一人目の娘の出産後。赤ちゃん専用洗剤に疑問を感じ、当時のママ友から石けんを教わったのがきっかけでした。仙台協同購入会(あいコープの前身)に加入し、石けんを知るために地区委員になった、なんと！託児もある！楽しそう！面白そう！で、すっかりはまり、気づいたら石けん委員会の委員長をしていました(笑)。

元々理系の私には石けんの理屈がすんなり入り、日々の発見から「これはみんなに伝えたい！」と新聞「ふわふわり」を発行。「きれいにし隊」として組合員のお宅に掃除に行ったこともありました。その他、石けん商品のモニター、BM活性水、生ゴミの堆肥化、セスキ、重曹の活用等々。当時理事長であった吉武さんの「組合員には溢れるくらい情報を選ぶのは組合員」の言葉を信じ、思いつくことは片っ端からやったかも。

石けん運動は、「環境に優しく」の気持ちだけでは難しい。けど、身体が気持ちいいと感じたから続いて来ました。石けん生活をためらう人もいると思いますが、石けんを基本としたナチュラル生活はシンプルで、用途に合わせて複数の洗剤を買わなくても応用がきき、少量の水で済む「セスキ洗濯」や重曹水での身体清拭など、震災の時も役立ちました。

きっとこれからもベースは変わらない。でもより今にマッチさせていくものだとは思いますが。ちなみに、今はまっているのは「マグネシウム洗濯」。紹介話はまたそのうちに…。

あきう
秋保 菜

伝統野菜 仙台芭蕉菜の種をつなごう

せんだいばしょうな

7月16日(日) 宮城西市民センター

たねまきプロジェクトの活動の一環として仙台芭蕉菜のたねとり企画が開催されました。

「仙台芭蕉菜」は江戸時代に江戸三河島で栽培されていた三河島菜を参勤交代で伊達藩土が仙台に持ち帰ったものが仙台芭蕉菜になったのではという説があります。白菜の普及により栽培されなくなっていたこの「仙台芭蕉菜」を、秋保ゆうきの会では6年前から栽培しています。

「芭蕉菜」はタカナの一種、一方「仙台芭蕉菜」はタネの一種で辛みやクセがなく、葉、茎ともに柔らかいので、漬物、お浸し、鍋、サラダ、どんな料理にも使えます。

今回は秋保ゆうきの会で栽培する仙台芭蕉菜のたね採りを組合員に体験してもらうという企画です。当日は仙台芭蕉菜を食べたことも見たこと



シートの上で鞘を叩く！



小さな鞘に
小さな「たね」



ふるいにかけて
くずを取り除きます



仙台芭蕉菜

ともないという17家族がご参加くださいました。

たね採りは、枯れた鞘(さや)を棒で叩くことから始まりました。棒で叩くと鞘が割れ、中から直径1ミリ程のたねがごぼれ落ちます。ふるいにかけてくずを取り除き、更にうちわで風を送って精製します。一人でやると地道で辛い作業も、皆でやれば楽しいイベント！

参加者の皆さんからは「たねは農家の一番の宝とおっしゃる。伝統野菜の仙台芭蕉菜を含め、たねを繋いでいく方が増えると思う」などと感想をいただきました。たねから食と農について学びを深める良い機会となりました。

今回たね採りした、秋保の「仙台芭蕉菜」は11月下旬にまんま通信に登場予定です！ぜひご賞味下さい！

理事 八重畑 ゆかり

2023 年 あいコープみやぎ総代会までの足取り

年に一度、活動と事業を確認し次年度の方針を組合員みんなで決める、生協にとって大切な区切りの日「総代会」。6月23日、2023年度の総代会が行われ、すべての議案が可決されました。

議案書作りから、当日議案が承認されるまでの流れを振り返ります。これからも、より多くの組合員の皆さんが熱意をもって参加できる生協を作っていきます。

Step1 1月 一年の振り返りと次年度の方針策定

総代懇談会で総代の意見を聞き、各地区や専門委員会の理事が委員の皆さんと活動の振り返りをします。議案書で報告することは？来年度は何をしようか？書き出していくことで、達成できたことや今後の課題がわかってきます。



Step2 2月 議案書作りスタート！



《2月》理事から担当者を決め、各理事の報告をわかりやすい書式でまとめる作業をします。毎月の理事会で確認しながら進め、同時に事業の報告（財務会計など含む）もまとめ始めます

Step5 5～6月 議案書説明会の開催 議案に対する質問・意見の募集

各地区で議案書説明会が行われ、理事や職員が組合員に議案書の内容を解説し、意見を交わします。今年は全8回で約100名が参加しました。

～実際に寄せられた声(一部)～

◆意見◆ 障がい者を「支援」するだけでなく、もっと社会福祉法人みんなの輪と「交流」していきましょう。

◆感想◆ 「産地応援隊」や「りんごオーナー」など、農産生産者を支える取り組み、素晴らしいです！

◆補足希望◆リサイクル石けんの工場を建設することを知りました。この「さいかち」についてももっと詳しく教えてください。

◆質問◆地産地消のあいコープが、遠くの産地の野菜も扱うのはなぜですか？



←議案書説明会
(写真は太白地区)
議案書を見ながら
意見交換します

Step4 5月初旬 議案書完成！ 総代さんにお届け

理事会は4月の臨時理事会で「議案」を確定させ、すぐ議案書の印刷に入ります。納品されたらすぐさま、総代の皆さんに「発言通告書」と共に配布されます。

ダイジェスト版も
全組合員に
配布します



Step3 2～3月 2023年度の総代立候補受付開始

2/1～3/31の間、新年度の総代立候補を受け付けました。毎年、各地区の組合員数に応じた「総代定数」に達するまで総代を募集します。

総代になると、生協に対する要望や日頃の活動・事業に関する感想などをダイレクトに伝える事ができます。

Step6 6月中旬 Q&Aを作成し すぐに総代に郵送

議案書説明会で寄せられた質問や感想を、一問一答形式にまとめたQ&Aを作製していきます。最後の説明会から5日ほどで冊子を完成させ、すぐに郵送します。

総代の疑問に答え、議案書説明会不参加の総代に共有することができました。

Step7 6月23日

いよいよ総代会！

エルパーク仙台ギャラリーホールで総代 60 名が会場参加して行われました。

議案書と一緒に配布した「発言通告書」を提出された総代は、総代会で通告書に沿って発言ができます。

2023 年総代会 採決結果

議案	反対	保留	賛成
第1号議案	0	5	94
第2号議案	0	6	93
第3号議案	0	1	98
第4号議案	1	1	97



採決の様子

すべての議案について、賛成・保留・反対の札を挙げます。ひとり一票。賛成多数であれば承認となります。



意見を述べる総代の安部さん(左)と
理事会からの答弁をする大滝常勤理事(右)

今年の総代会では5名の総代が、あいコープに対する意見を述べました。

仙台市の沿岸部、七郷地区で農業を営む「七郷みつば会」の協力の下、2019年から取り組んでいるのが七郷トライ田んぼ。毎年10組ほどの家族が登録し無農薬の稲作を体験します。この田んぼで行われる恒例行事が「むかつち先生こと向井康夫先生むかい＊いきもの研究所代表との生きもの調べ」です。

今年は7月15日に行われ、登録家族9組が集まりました。



田んぼの水と生き物の採集

参加者は雨降りにもかかわらず、いつも農作業をする七郷の「トライ田んぼ」のあぜ道に並びます。目の細かい網で田んぼの水ごと生き物を採集。さあこれを会場となる笹屋敷公会堂へ運んで、むかつち先生と調査です。



トレーに移すと生き物が見えてくる

ものだけでなく、水の中にはたくさんの命が息づいていることがわかります。子どもも大人も夢中で探し、見つけた生き物を先生が模造紙に書き出してくれました。



製氷皿を使い生き物を種類ごとに分ける

むかつち先生と見る世界は小さな小さな生き物の世界。ルーペや顕微鏡も使って、無農薬田んぼの水で生きている生き物の種類を見ていきます。ドジョウ、アメンボ、フタバカゲロウ・・・ミジンコやダニまで！カエルやトンボのように目に見え



説明をするむかつち先生

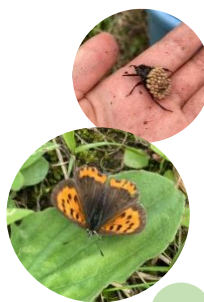
農薬の中には、殺虫剤をはじめ環境に影響のあるものが少なくありません。米作りにとっては「害虫」でも、それを食べる虫もいて、生き物の多様性とバランスが大事です。なんと厄介者の雑草「コナギ」を食べる「オオミズウミシ」という虫もいるとか。韓国ではすでに研究が始まっていると、むかつち先生が教えてくれました。

生き物を元の田んぼにそと返して調査は終了！無農薬の米作りを続けることで、田んぼにどんな変化が現れるか、これからも毎年調査していきます。

聴こえてくる 小さないのちの息づかい 生きてる田んぼのお米が食べたい

あいコープには、組合員が米作りをする「無農薬田んぼ」があります。大郷みどり会との「無農薬交流田」と、七郷みつば会との「七郷トライ田んぼ」。

組合員が生産者と苗を植え、除草をし、稲刈りをするだけでなく、毎年行われるのが「生き物調査」です。農薬を使わない田んぼではどんな生き物が生きているのだろう。命ある田んぼでお米を作りたい。そんな願いで長年続けている活動です。



大郷の「無農薬交流田」は、これこれ30年以上、大郷みどり会の生産者とり組むあいコープの伝統的田んぼです。今後、長年無農薬で続けて来た交流田を、冬のあいだも水を張り続ける「冬水田んぼ」にして、今まで以上に豊かな環境を目指したいと思っています。



採集した生き物をリスト化する

5月に登録組合員が植えた苗はすくすくと育ち、同時に雑草も育ちます。6月末の草取りの活動に、大学生の皆さんが初めて合流しました。組合員と一緒に草取りをした後は、一番の目的の生き物調査です。田んぼの中はもちろん、あぜ道や水路の中の生き物も捕まえ調査します。さすが「生きもの調査員」の募集に応じた方々。生き物好きなのはもちろん、専門家かと思う程に昆虫に詳しい学生もいて、盛り上がりを見せました。

7月もすでに2回の調査を終えています。7月第1回目の調査では、大郷みどり会の生産者の協力を得て、お知り合いの慣行栽培水田の調査もさせて頂きました。引き続き、「農薬を使用する田んぼ」「無農薬交流田」そしてこれから先実現できるであろう「冬水田んぼ」の生きもの調査をすすめ、それぞれに生息できる生き物の種類や数を比較していこうと思っています。

「田んぼを（大自然）から借りて米を作って食べているから、農薬で環境を汚したくない」とは大郷みどり会の西塚さんの弁。生き物が生きられる田んぼで作ったお米を食べて、人間も生き物の一種として「共存」していけるように活動を続けま



組合員+学生たちで除草はあっという間！

そこで！今年はいつもと違い、組合員家族以外の「若者」が田んぼに来てくれています。彼らは東北大学農学部で、日本全国から農を学びに集まってくれた大学生は総勢17名。みんなやる気に満ち溢れています。私たちあいコープは、生産者と消費者組合員だけでなく、大学生も巻き込んで、じわじわとオーガニックのムーブメントを巻き起そうと企てているのです。ワクワクしますね！



写真はできるだけその生き物がいた環境で撮影



慣行栽培の田んぼも調査対象

6/20「ストップ！女川原発再稼働」紙面デモ(意見広告) キックオフ集会

東北電力は、女川原発2号機の来春の再稼働に向けて「全力を尽くす」意志を示しています。国も県もそれを後押ししています。しかし、女川原発は、福島原発と同型の古い被災原発で耐震補強工事が繰り返す必要となっています。もし、再稼働すれば、女川にすでに堆積している放射性廃棄物がさらに累積します。こうした事態に市民が声をあげる、それが「意見広告」運動です。6月20日の「キックオフ集会」は、平日の夕食時間帯でしたが、多くの方が参加し、異口同音に「女川原発再稼働への危機感」が語られ、きゅっと締まった集まりでした。

あいコープみやぎ監事 半田 正樹（東北学院大学名誉教授）



紙面デモ運動の集会で話す半田正樹監事

7/18 理事会とあいコープ共生会幹事会が交流

生産者で組織される「あいコープ共生会」の幹事会主催で行われる、あいコープ理事会との交流会。今回は「理事さんに根掘り葉掘りのお茶会」と題され、グループごとに「理事になったいきさつ」や「どんな活動をしているか」「今後どうしていきたいか」など、まさに根掘り葉掘り聞き出されました。どのグループもそれぞれの理事が進めている活動の話や、その活動に巻き込まれる(?)理事の家族の、赤裸々な裏話にも大盛り上がり！生産者と理事の絆がまた深まりました。コロナ禍が教えてくれた「会える幸せ」「参加する喜び」を互いに再確認し合い、生産者と組合員が交流する機会をもっと作ろうと意欲も湧きました！

理事 鈴木真奈美



共生会幹事の皆さんと和気藹々！



あいコープのブーランジェリー♪「パン工房わ・は・わ」 コレが組合員の推しパンです！！

まんま通信のある暮らし

「みんなの食パン」だけじゃない！パン工房わ・は・わ（社会福祉法人みんなの輪）の工場では、多種多様なパンが作られ組合員の食卓を彩ります。その数なんと**50種類以上！**（たまに登場のスポット商品を含みます）

「あなたの一番好きなパンは何？」今回は食パン以外の菓子パン・総菜パンに対する【愛】を、組合員にリサーチ。人気商品をご紹介します。



甘い系

- 米粉のカスタードクリームパン
- 米粉のあんパン
- 米粉のバターメロンパン

- 米粉のおさつカスタードパン
- ぶどうたっぷり米粉パン
- チョコとクランベリーライ麦入りパン



←【米粉のあんパン】
これぞ王道菓子パン。米粉生地で満足感が違う！（匿名希望）

【米粉のカスタードクリームパン】→カスタードクリームの優しい甘さがイイ。（匿名希望）

【おさつカスタードパン】さつま芋が好きなので一番リピートしてます。（さざえ）



【ぶどうたっぷり米粉パン】レーズンがたっぷり。レーズンが美味しい。（りふママ）

しょっぱい系 食事系

- わはわのもっちり米粉パン
- クルミの入った米粉パン
- わはわのコッペパン

- 国産小麦で作ったガーリックフランス
- よつ葉3種のチーズの米粉ピザパン
- こんがりおやきの枝豆パン
- 国産小麦で作ったわはわのクッペ3種



←【コッペパン】ソーセージが同じページに掲載してあるので一緒に注文（ゆうこ）

【米粉ピザパン】毎回注文してます。朝食にも食べやすく家族に好評です♪（りり）

【ガーリックフランス】ガーリックトースト大好き。ちょうどよいサイズと3個入りで申し分なし！（かずぼん）



【クッペ】↑歯ごたえが好き。ガーリックバターを塗ってカリッとトーストすると最高！（ともやん）

いつもご利用ありがとうございます



社会福祉法人みんなの輪
パン工房わ・は・わ
櫻田真悦さん

わはわのパンは、パン職人（工房主任：渡邊）がアイデアを出したり、組合員さんからの要望を形にしたりしながら試作品を作り、パート職員も含めて皆で試食。「これなら！」と思うものができると試作を繰り返し、あいコープさんに提案してOKを頂ければようやく完成となります。

ここ数年は、季節限定品（夏コッペ、枝豆おやき等）や、あいコープの職員チームと共同で作るスポット品（ぐるぐる銀河のベリーブレッド等）に力を入れています。食パンやもちり米粉パン等の定番品を常に安定した品質で出しつつ、そういった「ワクワク」な要素も加えられるように意識しています！新たな「ワクワク」の詰まったパンを完成させられるよう頑張っていきますので、お楽しみに！

組織概要

（2023年6月分）

【組合員数】	16,437名
【供給高】	259,051千円
【一人実利用高】	5,492/週
【出資金】	1,351,801千円

トルコ・シリア地震緊急支援募金

4月2回～5月2回で行った支援金カンパの結果は次の通りです。
一口300円 …58,800円
一口300ポイント …328,908円
一口1000円 …915,000円
一口1000ポイント…1,134,987円
総額 2,437,695円
ご協力ありがとうございました。

▼第35回通常総代会の振り返りを行った▼理事報酬を承認した▼2023年度委員会活動予算案を承認した▼PBマヨネーズ大試食会企画案を承認した▼安定ヨウ素剤配布企画案を承認した▼こども選挙立会人企画案を承認した▼Wa!わあ祭り2023実行委員会報告を承認した。

理事会議事録抄

2023年7月4日（火）



●あいコープの新しいマヨネーズ使いました。とても美味しくてすぐなくなりそうです。あいあいあいにもどんだんマヨネーズレシピ載せていただけると料理が楽しくなります。（あいあいあい7月号アンケートより）

始めよう！続けよう！ 石けん生活

7月6日 環境学習会
「暮らしに潜む有害化学物質」

石けん環境委員会では、NPO法人 有害化学物質削減ネットワークの榎田博氏を招いて環境学習会を対面で開催し、25名の組合員が参加しました。

(以下、石けん環境委員の感想より抜粋)

◆環境ホルモンがなぜ体に良くないのか詳しくわかりました。今回のお話で一番衝撃的だったのが、界面活性剤の排出が工場よりも家庭の方が多いということでした。1人の人が1000をやるより1000人の人が1をやる！合成洗剤じゃなく石けんを使う人が増える活動を石けん委員としてやっていきたいです。

◆(環境ホルモンは)私たちの身体の成長ホルモンや女性ホルモンなどの内分泌物質に似た物質で、精子数の減少や神経発達の障害との関連性など様々な影響があるとのことでした。子どもたちに身近な消しゴムにも環境ホルモンのフタル酸エステル類が多量に含まれているものもあると聞き驚きました。



参加者と交流しながら
話を進める榎田先生

◆個人的にも何度か学習したテーマでしたが、少し踏み込んだ内容もあり、また改めて気づかされる事もあり勉強になる会でした。家庭から排出される(有害化学)物質の半分以上が界面活性剤と知り驚くとともに、このことも伝えていこうと思います。

◆私自身、子どもの頃使っていた日用品から知らず知らずのうちに(有害化学物質を)体に取り込んでいたことを知ってショックもありましたし、何十年もたった今でも、多くの子ども達が毎日触れていることを考えたり、この活動が広がらない背景を知ると、本当に心がざわつきました。

私のオススメ商品



私のおすすめ商品は「花兒園の花たまご使用マヨネーズ」です。この度、リニューアルされたあいコープのマヨネーズですが、しっかりとしたコクで、まろやかな味わいでもしつこく

なく、サラダ等にはもちろんですが、魚料理や肉料理にも良く合う風味です。私のおすすめは、食パンにチーズとマヨネーズをトッピングした「チーズマヨネーズトースト」です。子ども大好きで我が家では、常に冷蔵庫に常備されているおすすめのマヨネーズです。

事業部 供給課 齊藤 元治

編集後記

梅雨明け宣言もまだだというのに、連日のうだるような暑さ・・・昔旅したインドや東南アジアでは、人々は一日に何度も水浴びをして暑さをしのいでいました。前日のお風呂の残り湯程度の、かぶると最初は「ひやっ」とする温度の水に慣れると、汗が引いてすっきりとした気分になりました。しばらくは本当に冷房いらずで、夏冷え対策にも良いですよ！自分の身体と相談しつつ、休日にぜひお試しあれ！

理事 石井 朱里

委員さん募集中！

あいコープの仲間と
食のこと
環境のこと
一緒に話しませんか？

お問い合わせ先
☎ 0120-255-044
Fax 0120-849-324
Email soshiki@mamma.coop
(担当：組織運営室長 豊嶋)



ジョイケア NEWS

ジョイケアシステムは、あいコープみやぎ独自の地域福祉政策で、組合員全員の拠出金(100円/月)によって成り立っている助け合いの仕組みです。社会福祉法人「みんなの輪」、NPO法人「お茶っこケア」、ビッグイシューへの支援など、地域福祉にも役立てられています。個人で利用できるサービス(ささえあい/たすけあい/集団託児/慶弔・出産/電話相談)もあり、組合員同士の助け合いやケアメイトによる集団託児なども多く利用されています。

ジョイケア利用状況 (2023年6月分)

ささえあい(保障)	4件	◆集団託児	
たすけあい(ケア)	17件	利用延べ人数	12名
集団託児	8件	◆ケア時間	
慶弔・出産	5件		69.5時間
電話相談窓口	9件		
計	43件		

組合員が利用できる電話相談

お申込み・お問合せは
ジョイケア事務局へ



0120-50-7277 平日 9:00~17:00

年金相談・・・9/12(火) 社会保険労務士 清野道子氏

13:30~15:30

法律相談・・・9/12(火)、9/20(水) 弁護士 倉林千枝子氏

13:30~15:30

子ども相談・・・9/19(火) 宮城教育大学教授 菅井裕行氏

10:00~12:00

*介護保険と傾聴は相談日のご希望を伺います。

介護相談 (ケアプランセンター・木もれび 山崎彰子氏)

傾聴 (NPO法人仙台傾聴の会 森山英子氏)

▼随時受付可です。各相談窓口前週の金曜日までにて予約して下さい。▼金曜日が祝日の場合は直前の平日の受付時間まで受付します。▼予約して頂いた方には、相談日に相談員からお電話を差し上げます。



◎子供は、汚れるのであまり田んぼに入りたくないといっていました。汚れることも含め、お米ができるまでの過程や大変々を実感する良い機会になっていると思います。(七郷トライ田んぼ草取り・参加者感想)

生産者さんに

あい

に行こう!47

おういんどう
有限会社 王隠堂農園の巻

農業と都市の つながりを目指して

若手の意見を活かし 魅力的な農業を次世代へ

小梅の収穫について説明する
代表の王隠堂さん

軽トラックに乗って、さらに高所へ。小梅の収穫作業にお邪魔すると、若手生産者の野丸さん(24歳)と援農ボランティアの皆さんが汗を流していました。腰に括り付けた籠に梅の実を手でぽろぽろと落としていきます。繊細な手作業に驚きました。野丸さんに教えてもらいながら全員で収穫体験。まんま通信にもこの小梅の梅干しが載るのだと嬉しい気持ちで収穫して来ました。

梅の園地に隣接する
グランピング施設からの絶景

梅干しや福神漬け、そして切り干し大根。おばあちゃんが作ってくれたような懐かしい、日本の食卓を彩る食材を届けてくれる生産者グループ「王隠堂農園」を、理事と職員で訪れました。

奈良県の五條市の山間部、細い山道を上って行くと、現れたのは築150年の古民家を活かした農家レストラン「農悠舎王隠堂」。王隠堂農園が経営するこのレストランでは、調味料まで手作り。本物の野菜の味を求めて多くの方が訪れるそうです。そしてその周囲に広がる広大な梅や柿の園地を、代表の王隠堂さんに案内して頂きました。

収穫体験を終えた参加者
左から2番目が生産者の野丸さん

人手のいる農業。しかし人口の減少は必然的に農業者の人口減に繋がっています。王隠堂さんは若手生産者や地元の農業高校生らの意見を取り入れ、スマート化や「人々が訪れたい場所」を目指した取り組みを拡げています。ある若者の発案で園地の中に作られたグランピング(キャンプ施設)やカフェ。その姿は従来の農業のイメージとは結びつかないような、洗練されたものでした。

農業の抱える問題はどこも共通でしたが、がむしゃらさだけでなく知恵と柔軟性、そして農業の枠を超えた人々との繋がりによって未来を描く生産者の存在を知りました。

王隠堂農園
おういんどう まさみ
代表取締役 王隠堂 誠海さん

王隠堂家は奈良県五條市西吉野町(旧西吉野村)で古くから梅、柿を生産する農家でした。1970年代前半、大学を卒業した私は当時の化学合成農薬、化成肥料を多投する農法に疑問を持ち、それらに頼らない生産へ転換を図りました。その取り組みを地域に広げ、仲間を増やし、自立する農家集団を目指し1984年に法人化しました。当初から、農業生産、加工、販売を一貫して行い、今では西日本の生産者や団体と連帯しています。

現在産地では、人口減少と高齢化、農業者の後継者不足、異常気象など課題が山積みです。特に人口減少は深刻で、私が住む五條市は2045年には今の半分の約13,000人になると言われています。変わりつつある農業産地ともう一度向き合い、次期世代へ引継ぎ、次に繋がる産地にしていけるよう、生産者仲間と共に課題を克服していきたいと思っています。現在、都市と繋がる場づくりとして、レストランやグランピング、カフェも行っています。ぜひ一度産地に来てください。よろしくお願いいたします。

9/16
土バスちゃん牛乳のふるさと
ながめやま牧場バスツアー場所/山形県 飯豊ながめやま牧場
※詳しくは8/7~配布のチラシで!9/17
日脱原発エネシフ委員会主催
安定ヨウ素剤配布会場所/リフノス利府町文化交流センター
時間/10:00~12:00 参加費(資料代)/500円9/18
月・祝やっべしりんごは続いてく
天童りんご園地ツアー場所/山形県 天童果実同志会園地
※詳しくは8/7~配布のチラシで!来年2月 動き出す予定の女川原発に **待った** を。

—紙面デモ(河北新報への意見広告掲載)を成功させよう!—

事故を起こした福島第一原発と同型の女川原発。有事の際の避難計画も机上の空論で地元住民の不安は募ります。多くの人が反対しても再稼働するのはなぜ?

賛同者の名前を掲載した意見広告を河北新報に掲載し「私たちは女川原発再稼働を認めない」と意思表示する計画が進んでいます。(匿名掲載も可能です)様々な方法で協力できます。鋭意活動中の「ストップ!女川原発再稼働」意見広告の会」のHPから参加方法をチェック!!もちろんあいこーぷみやぎも賛同しています。

左のQRコードから、
参加・協力方法をご確認
ください。

女川原発が止まってから

4532 日目
(2023年8月6日現在)